

FLASH_DATA

1. 動作概要

ユーザブートモードを用いてFlash Dataの書き換えを行います。

2. 各設定

SW : SW4 (PortA2)

LED : LED0 (PortJ0)
: LED1 (PortJ1)
: LED2 (PortJ2)
: LED3 (PortJ3)

外部割込み : INT00 (PortA2)

3. 基本動作

始めにメインプログラムが起動し、LED0, LED2が点灯します。

SW4が押し込まれると、書き込み処理、データフラッシュのページ消去(0x30001000-0x30001FFF, 0x30002000-0x30002FFF)、データフラッシュへの書き込みを行い、LED1,LED3が点灯します。(①)

①の後にSW4が押し込まれると、書き込み処理、データフラッシュのブロック消去(0x30001000-0x30001FFF, 0x30002000-0x30002FFF)、データフラッシュへの書き込みを行い、LED0,LED2のが点灯します。(②)

②の後にSW4が押し込まれると、書き込み処理、データフラッシュのエリア消去(0x30000000-0x30007FFF)、データフラッシュへの書き込みを行い、LED1,LED3のが点灯します。(③)

以降同様の処理を繰り返し、①~③を繰り返しLEDの点灯パターンが入れ替わります。

4. 特記事項

同じスイッチの多重押しはケアしない。